

平成17年3月期 決算発表

JASDAQ
証券コード：2328

魅力ある快適空間アーバンスクエアを創る



株式会社 **アリスカ**

<http://www.arisaka.net/>

事業概要

事業展開

当社はゲームを主力に、ボウリング、カラオケ、バッティングセンター、スーパー銭湯、飲食・ビリヤード等の各種アミューズメント事業を手掛け、複合的な店舗運営を行っています。人気機種 of 早期導入や最新の設備環境、各種イベント開催等、充実したサービスを提供し、「遊びとリラクゼーション」が共存する、最高のエンターテインメント空間を創造。お客様に楽しいひとときを「体感」していただくために、各事業が様々な形でリンクした、クリエイティブでオリジナリティあふれるアミューズメント施設を、これからもみなさまにお届けしていきます。

・ゲーム事業

当社の主力事業として、ゲームセンターの運営を行っています。各メーカーと直接取引を行っているため、最新の人気機種を同業他社に先駆けいち早く導入。より多くの台数を確保し、売上・集客・固定客づくりを積極的に行っています。

・ボウリング事業

お子様からお年寄りまで、スポーツ感覚で楽しめるレジャーとして、各事業との複合化を目的に設置運営しています。各種イベント・大会の企画、近隣の会社や団体等へのアプローチ等、積極的な営業活動を行っています。

その他事業

飲食部門は、スーパー銭湯をメインに、ビリヤード・卓球部門は、アミューズメント施設に必要なに応じて設置運営しています。機器販売部門は、レンタルも含め受注に応じた営業活動を行っています。

ゲーム
事業

その他の
事業

エンターテインメント

ボウリング
事業

・カラオケ事業

施設の複合化を目的に設置運営しています。あくまで施設を利用されるカラオケを好まれるお客様へのサービスの一環として設置しております。

バッティング
事業

カラオケ
事業

スーパ-銭湯
事業

・バッティング事業

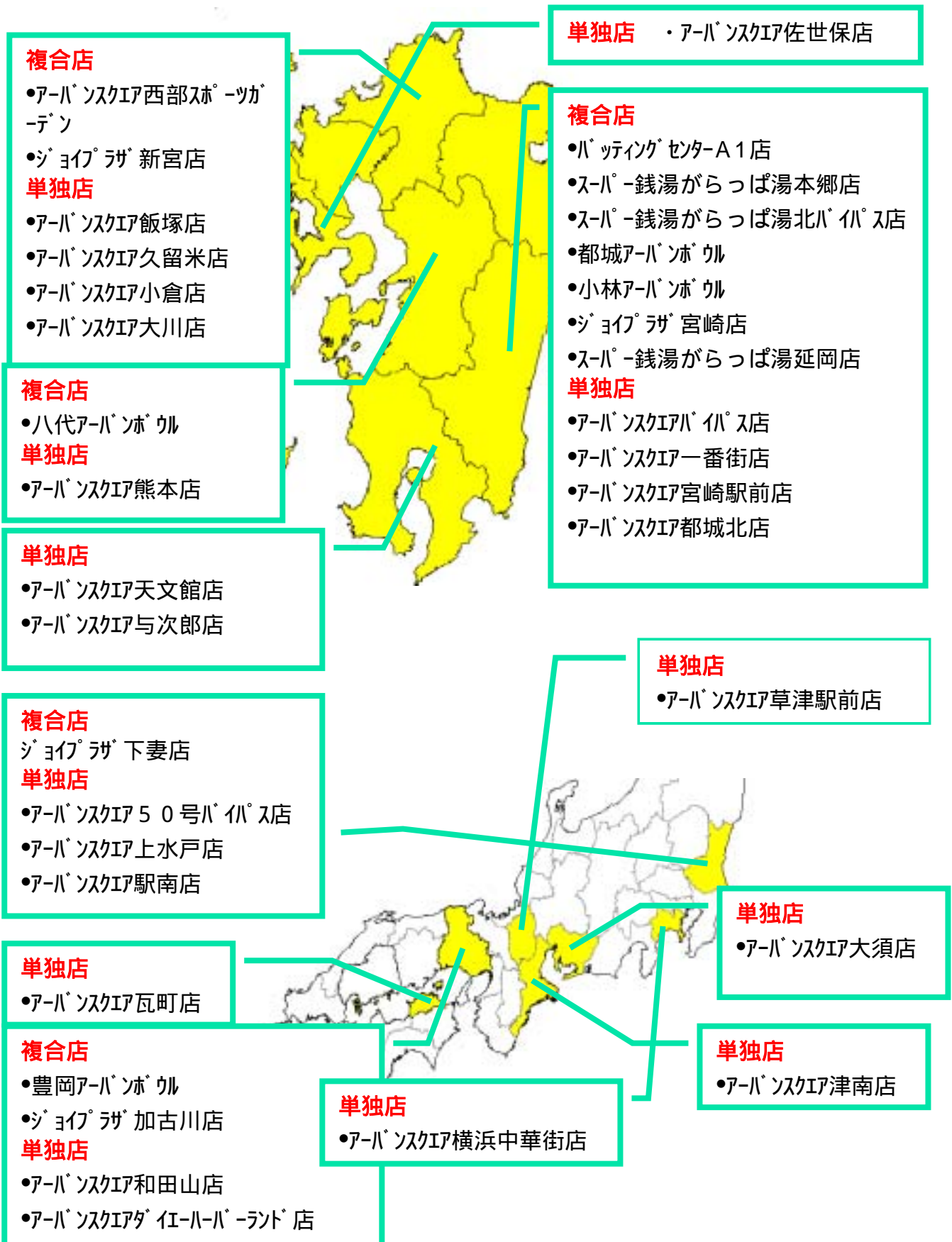
レジャースポーツとして幅広い顧客層から根強い人気がある中、近年は女性や少年野球チームの利用も多く、メジャーな施設になってきています。施設の複合化を目的に設置運営しており、ランニングコストも少なく着実な収益を維持しています。

・スーパー銭湯事業

健康ランド並の浴室構成と雰囲気を持ちながら料金は銭湯並みというリーズナブルなサービスで、幅広い顧客層から手軽なレジャーとして利用されています。高い競争力を持つ事業として安定した収益をあげています。

店舗分布図

平成 17 年 3 月 31 日現在



店舗別事業別一覧表

平成17年3月31日現在

店舗名		開設時期	ゲーム	カラオケ	ボウリング	パッティング	スーパー銭湯	飲食	ビリヤード・卓球	単独店	複合店	備考
アーバンスクエアバイパス店	宮崎県宮崎市	H2.12										
アーバンスクエア一番街店	宮崎県宮崎市	H3.2										
パッティングセンターA - 1店	宮崎県宮崎市	H4.8										
都城アーバンボウル	宮崎県都城市	H6.10										
アーバンスクエア宮崎駅前店	宮崎県宮崎市	H10.12										
スーパー銭湯がらっば湯本郷店	宮崎県宮崎市	H12.4										
スーパー銭湯がらっば湯北バイパス店	宮崎県宮崎市	H13.2										
ジョイプラザ店宮崎店	宮崎県宮崎市	H13.12										
小林アーバンボウル	宮崎県小林市	H8.12										
スーパー銭湯がらっば湯延岡店	宮崎県延岡市	H14.4										
アーバンスクエア都城北店	宮崎県都城市	H15.7										
アーバンスクエア天文館店	鹿児島県鹿児島市	H11.9										
アーバンスクエア与次郎店	鹿児島県鹿児島市	H16.6										共同店舗
八代アーバンボウル	熊本県八代市	H10.3										
アーバンスクエア熊本店	熊本県熊本市	H11.7										
アーバンスクエア飯塚店	福岡県飯塚市	H3.7										
西部スポーツガーデン	福岡市西区	H8.4										
アーバンスクエア久留米店	福岡県久留米市	H12.8										
アーバンスクエア大川店	福岡県大川市	H14.8										
ジョイプラザ新宮店	福岡県糟屋郡	H16.4										
アーバンスクエア小倉店	北九州市小倉北区	H12.2										

店舗別事業別一覧表

平成17年3月31日現在

店舗名		開設時期	ゲーム	カラオケ	ボウリング	パッティング	スーパー銭湯	飲食	ビリヤード・卓球	単独店	複合店	備考
アーバンスクエア佐世保店	長崎県佐世保市	1 H14.12										
アーバンスクエア横浜中華街店	神奈川県横浜市	1 H15.12										共同店舗
アーバンスクエア津南店	三重県津市	1 H16.11										共同店舗
アーバンスクエア大須店	愛知県名古屋市	1 H16.2										共同店舗
豊岡アーバンポウル	兵庫県豊岡市	H10.4										
アーバンスクエア和田山店	兵庫県朝来郡和田山町	H12.3										
ジョイプラザ加古川店	兵庫県加古川市	H16.12										
ダイエーハーバーランド店	兵庫県神戸市中央区	H15.7										
アーバンスクエア瓦町店	香川県高松市	1 H13.8										
アーバンスクエア草津駅前店	滋賀県草津市	1 H16.4										
アーバンスクエア50号バイパス店	茨城県水戸市	H15.3										
アーバンスクエア上水戸店	茨城県水戸市	H15.3										
アーバンスクエアアイアイ駅南店	茨城県水戸市	H15.3										
ジョイプラザ下妻店	茨城県下妻市	H16.10										
合 計		35	34	6	8	2	4	8	10	22	13	4

複合施設の出店事業セグメント

老若男女の幅広い層のみならず、充分ご満足いただけるアミューズメント施設であるために、出店の際は、その地域の男女比、年齢層など詳細に渡ってリサーチを行い、その土地の地域性とユーザー・ニーズに適切なアミューズメントを組み合わせた施設づくりに取り組んでいます。このように、地域に密着したランダムな施設づくりに対応できるのは、複数のアミューズメント部門を手掛ける、当社ならではの事業形態の業あり、その結果、各店舗においてより効果的な集客力・収益率が得られ、各事業部門間での相乗効果も高まっています。



出店戦略

アミューズメント施設経営の場合、集客力を左右するものとして、出店場所の選定が大きなキーポイントとなります。そのため当社では、交通量の多いロードサイドを含め、都市中心部への店舗出店を積極的に展開しており、自社運営の大型複合施設を展開する商業施設への積極的なテナント出店や、同等、最小限の投資でよりよい立地条件のもとで効率的な出店を行い、今日まで店舗数を着実に増やし集客力を高めることに成功しています。



また、戦略的な市場開拓の一環とするのみでなく、異業他社が運営する複合商業施設のアミューズメント施設を引き継ぐ

効率化運営

今日のような淘汰の激しい業界において、当社が安定した経営を可能としている理由に、徹底した収益重視の運営施策を心掛けてきた企業姿勢が挙げられます。

集客力・収益率の低い不効率店舗全施設の運営効率化を図るための価の低減など、各施設ごとの詳細これらの施設運営におけるすべてこそ、当社が成長し続ける大きな競争力につながっています。



の早期閉鎖や、より立地条件の良い場所への出店など、スクラップ&ビルドの実施。また、仕入原価・店舗原に渡るコスト・マネージメントの実施。の効率化を、的確かつ迅速に実現するパフォーマンス

イベント・キャンペーン

各施設で定期的なイベントを積極的に行い、リピーター獲得および新規ファン層の拡大につなげています。イベントの際に提供する景品には、当社が運営サービス券なども発行し、複合施設内での来店客の図るなど、相乗効果にも功を奏しています。



する他の事業部門の割引券や無料流動と来店客の消費金額の増加を

また、複合施設のメリットを活かし、ボウリング・シーズンキャンペーンなど、幅広い客層や団体客に向けたキャンペーン企画も行い、お客様にも大変好評をいただいています。

カラオケ・飲食等のセット割引や、

社員教育

お客様に最高のサービスを提供するために、当社では、各施設の店長およびスタッフの社内研修をはじめ、現場におけるOJTによる反復実施等、「職務上の知識」「技能の向上」「管理・監督能力の向上」「職場の秩序と人の和の積極的な確立」を育成方針アップを図っています。



また、明るい店内、明るい接客、機器のメンから基本的な事項をスタッフに徹底して意識利用いただける、健全で明るい施設作りをモ

テナンス・故障時の迅速な対応まで、日頃かづけ、幅広い年代層のお客様に、安心してごトターに取り組んでいます。

貸借対照表

(単位：千円、%)

	前期末 H 16/3月期	当期末 H 17/3月期	増減額	前期比		前期末 H 16/3月期	当期末 H 17/3月期	増減額	前期比
資産の部					負債の部				
流動資産	952,104	1,375,239	423,135	144.4	流動負債	2,965,756	3,312,627	346,870	111.7
固定資産	9,125,116	10,532,272	1,407,156	115.4	固定負債	5,170,532	6,052,639	882,107	117.1
有形固定資産	8,250,016	9,369,490	1,119,474	113.6	負債合計	8,136,289	9,365,267	1,228,977	115.1
無形固定資産	110,993	83,581	-27,412	75.3	資本の部				
投資その他の資産	764,106	1,079,200	315,094	141.2	資本金	635,150	922,650	287,500	145.3
繰延資産	13,600	11,720	-1,880	86.2	資本剰余金	632,910	920,070	287,160	145.4
					利益剰余金	679,506	705,899	26,393	103.9
					その他有価証券 評価差額金	7,199	14,509	7,309	201.5
					自己株式	-235	-9,164	-8,929	-
					資本合計	1,954,531	2,553,965	599,434	130.7
資産合計	10,090,820	11,919,232	1,828,412	118.1	負債・資本合計	10,090,820	11,919,232	1,828,412	118.1
					1株当り純資産額	747.57	600.15	-147.42	80.3

現金預金の増加 182百万円 棚卸資産の増加 81百万円
売掛金の増加 97百万円 前払費用の増加 62百万円

出店及び既存店のリニューアルその他による設備
の増加 2,192百万円
減価償却費及び除却等 1,073百万円

M & Aによる営業権の償却額 27百万円

差入保証金・敷金の新規増加 382百万円
閉鎖店舗の保証金、敷金の返却 64百万円

1年以内の長期借入金の増加 305百万円
短期借入金の増加 47百万円
未払金の増加 81百万円
未払法人税等の減少 109百万円

長期借入金の増加 1,100百万円
割賦債務の減少 157百万円
無担保社債の減少 60百万円

公募増資による増加 574百万円
未処分利益剰余金の増加 26百万円

損益計算書

(単位：千円、%)

	前 期 末 H 1 6 / 3 期	当 期 末 H 1 7 / 3 期	前期比 (%)	H 1 7 / 3 期 計 画	H 1 7 / 3 期 計 画 比	H 1 8 / 3 期 予 想
売上高	5,451,060	6,762,171	124.1	6,800,000	99.4	8,100,000
売上原価	4,316,962	5,587,396	129.4	5,450,600	102.5	6,725,600
売上総利益	1,134,098	1,174,775	103.6	1,349,400	87.1	1,374,400
販売費及び 一般管理費	447,530	519,422	116.1	545,400	95.2	622,400
営業利益	686,568	655,352	95.5	804,000	81.5	752,000
営業外収益	97,933	111,256	113.6	88,400	125.9	119,700
営業外費用	291,871	345,259	118.3	325,400	106.1	390,500
経常利益	492,630	421,349	85.5	567,000	74.3	481,200
当期純利益	214,009	91,696	42.8	255,265	35.9	237,613

売上原価の内訳

仕入原価	425百万円
店舗原価	5,017百万円
機器除売却原価	144百万円

販売費及び一般管理費の内訳

人件費の増加	15百万円
その他、リース料、発送費、広告宣伝費、管理諸費、旅費交通費等の増加	13百万円
租税公課の増加	13百万円
保険料、支払手数料の増加	21百万円

営業外収益の内訳

受取地代家賃の増加	10百万円
受取手数料の増加	5百万円

当期純利益の説明

不効率店舗の閉鎖及び宮崎市の一歩街店の建物建替えに伴う既存設備の除却損等	67百万円
店舗閉鎖費用	11百万円
老朽化した既存店舗設備及び稼働率の悪い機器の除却損等	172百万円

営業外費用の内訳

支払利息の増加	12百万円
その他営業外費用の増加	28百万円
受取地代家賃に対応する原価の増加	10百万円

キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

単位：百万	前期 H16年3月31日現在	当期 H17年3月31日現在
営業活動によるキャッシュ・フロー	989	998
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,491	2,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	474	1,402
現金及び現金同等物の増加額	27	188
現金及び現金同等物の期首残高	441	414
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	414	602

非
資
金
費
用

税引前当期純利益	171百万円	法人税等の支払額	199百万円
店舗閉鎖等による有形固定資産除却損等	239百万円		
減価償却費	799百万円		

新規出店・既存店舗の改築・既存店の土地・建物取得等に伴う有形固定資産の資金使用	1,897百万円
敷金・差入保証金等の支出	383百万円

株式発行による収入の増加	565百万円
社債償還による減少	60百万円
長期借入金の増加	1,406百万円
設備等の割賦債務の減少	482百万円
配当金の支払	65百万円

事業別売上高予実比較

平成17年3月期 売上高比較

(単位:百万、%)

事業別	前期実績	当期実績	実績比	計画	計画比	既存店計画	既存店実績	既存店計画比
ゲーム事業	4,534	5,633	124.2	5,850	96.3	2,758	2,731	99.0
ホウリング事業	352	482	137.0	452	106.6	315	323	102.5
スパー銭湯事業	273	250	91.6	252	99.4	252	250	99.4
カラオケ事業	96	83	86.7	90	92.7	81	77	94.6
ハッティング事業	40	32	79.8	34	94.6	28	26	93.6
その他の事業	153	278	181.9	119	233.0	67	227	337.9
合計	5,451	6,762	124.1	6,800	99.4	3,503	3,636	103.8

その他の事業には、機器売上を含んでおります。

平成17年3月期 既存店月次売上高の前年比較

単位: %

事業別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
ゲーム事業	97	95	98	108	101	101	97	90	92	89	94	97	90
ホウリング事業	95	108	79	88	85	84	85	130	98	101	88	102	91
スパー銭湯事業	95	102	88	98	89	90	98	91	90	89	82	85	91
カラオケ事業	85	91	78	89	77	80	85	72	74	77	71	79	80
ハッティング事業	100	101	85	88	78	82	110	94	110	118	105	127	98
その他の事業	220	150	79	89	86	51	62	79	97	251	106	913	217
合計	99	98	95	104	98	96	95	92	92	91	92	128	93

< メモ >



株式会社 **アリサカ**